

令和3年度

京都市立醍醐中学校

学校だより

第13号



令和4年2月28日 文責 林

学び続ける姿勢

3月（弥生）になります。新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収束せず、学校生活がさまざまな場面で制約を受けた今年度も年度末を迎えます。3年生は、私立高等学校の入試、公立高等学校の前期選抜・特別入学者選抜が終了しました。合格して、4月からの新しいステージのスタートラインに立つことができた生徒も多くいます。これから公立高等学校の中期選抜を受検する生徒も多くいます。進路先が決定した生徒は、これから受検を控える生徒を応援してください。いつも言っていますが、入試は、団体戦ですので、団結力を発揮して、支えあって乗り切ってください。すべての生徒が自分の希望する進路決定をしてくれることを願っています。

話は変わりますが、私は最近、オンラインショップで靴を購入しました。気に入った靴が手に入りうれしかったです。しかし、困ったことがあります。スマートフォンにひっきりなしに別の靴の広告が入ってくるようになりました。私は、別の靴にも興味があると判断されたかのようです。また、新聞を読んでいると1999年に公開された映画「マトリックス」についての記事がありました。「マトリックス」の中では、コンピュータに支配された存在であることに気づかずに暮らす人々の姿が描かれているというのです。まさに自由が制限された管理の社会です。何としても避けたい社会であると思うのですが、逆から考えると欲しい情報は、私の靴のように入ってくるなどコンピュータに任せておけば快適に暮らすことができるかもしれません。ただ、本当に快適な暮らしかどうかは疑問が残ります。

こうして見てくると改めて「じっくり考えること」の大切さを痛感します。コンピュータ（例えばAI）は便利で、うまく使えば生活に役立ちます。しかし、コンピュータにすべてを任せてしまうと自由が脅かされる恐れがあります。バランス感覚が必要です。コンピュータにすべてを任せて、コンピュータが提示してくることに従うのでもなく、コンピュータを一切使わないのでもなく、言い換えれば白黒をはっきりさせるのではなく、どうすることが生活の向上につながるのかを考える必要があります。そのために私たちは、「学び続ける」ことが求められているのではないのでしょうか。コンピュータを始め技術は日進月歩です。1年前、半年前の知識や技能は古くなっていることも珍しくありません。ですから絶えず知識や技能を更新する、アップデートする必要があります。新しい知識や技能を手に入れる学びを続けなければなりません。学びを止めてしまえば激動する社会から遅れてしまいます。また、知識や技能を獲得するだけでなく、知識や技能を活用することも求められます。活用するためには、与えられた問題に答えを出すだけでなく、主体的に自分自身で課題を設定し、仮説を立て探究することが重要です。自分自身の固定観念にしばられずに学び続ける姿勢をもってほしいものです。

年度末を迎えて

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、本校の教育活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。感謝申し上げます。今年度も年度末を迎えました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い教育活動が大きく制限されましたが、生徒は力を合わせて、できることをできる範囲で懸命に努力してくれました。教職員も工夫を重ねてくれました。その結果、学校祭や修学旅行などの学校行事も実施することができました。また、醍醐寺様のご協力で3学年とも連携授業を行うことができました。来年度も本校の教育活動をさらに発展させていこうと考えています。引き続き、お力添えをいただきますようお願い申し上げます。

（裏面もご覧ください）

1年生・2年生学年末考査

2月16日（水）から3日間、1年生・2年生の学年末考査を実施しました。今年度最終の定期考査で1年間のまとめのテストです。生徒の皆さんは、計画をしっかりと立ててテストに向けて準備をしてくれました。放課後学習に参加する生徒も多かったです。テストの結果を受けて、得点だけに一喜一憂するのではなく、できたところとできなかったところを整理して、できなかったところはしっかり復習してください。そして、新学年につなげてください。



DESL週間

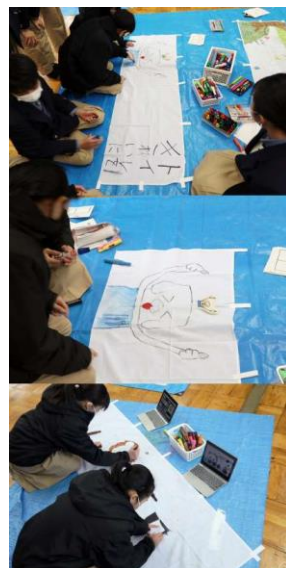
1月31日（月）から生徒会の「DESL（Daigo/Enjoy/School/Life）」週間が行われました。各委員会ごとに趣向を凝らした取組を行ってくれました。

朝の登校時に、校門では生徒会本部とクラスの各委員が挨拶運動をしてくれました。



のれん制作

生徒会のDESL週間で、環境委員会ではトイレの入り口に掛ける「のれん」を作ってくれました。これまでトイレの入口に扉がありませんでした。生徒会本部や環境委員会からの提案がきっかけとなって制作にいたりしました。生活環境改善の一環になりました。



だいがキャンドルに向けて

3月19日（土）に折戸公園で「だいがキャンドル」が行われます。2年生がキャンドルのもとになる紙コップに「想い」や「願い」を書き入れました。1年生・3年生は今後行います。

3月19日（土）の本番が楽しみです。



漢字検定

2月4日（金）の放課後に第3回漢字検定を実施しました。今までは実施する級別に受検会場（教室）を割りふっていました。今回はコロナ感染拡大対策として、それぞれの学級ごとに会場を決めました。「他学級や他学年との合同・交流での活動はできる限り控える」という方針に基づくものです。

5級から2級まで、11人が挑戦しました。全員の合格を願っています。

